

### 3. 先々月・先月の両園地探鳥会

①ほしだ園地(11月) 私市集落でハイタカが2羽のハシトガラスにモビングされるのを見た後、天野川では怪我で3年前から定住しているオシドリ雄の繁殖羽、そしてセキレイ4種(ピンズイ+三色)が観察した。天野川沿いの遊歩道は、ほしだ園地で開催されている「紅葉まつり」・「おりひめの里特産市」に向かうハイカーが切れ目なし、そんな中でエナガを中心とするカラの混群を何回か見ることができ、林からはルリビタキの声が聞こえた。ほしだ園地ピトンの小屋周辺は都会の雑踏、しかし高压線の鉄塔に休むハヤブサを行き・帰りともゆっくり観察し、一般の方にも望遠鏡で見てもらうことができた。ほしだ園地名物「星のブランコ」では、行き交う人で揺れる中、360度黄葉のコナラを楽しんだ。

②くろんど園地(12月) 雨天中止

### 4. 日本野鳥の会大阪支部からのお知らせ

#### ①北河内の定例探鳥会(2019年2月度)案内

春を待つ鳥たちが、日射しの長さに気付き動きが活発になる季節。水辺ではカモの仲間のペーリングが進み、冬鳥のアトリ雄の頭が黒くなるなど、春の装いに変化します。

曜日 (月日) 場所 集合時間・場所

第1(日)(2/3) 枚方牧野 9:00京阪枚方市駅下車ラポールひらかた前

└ 1月度より 集合場所を枚方市駅近くに変更しているので**要注意**。

第2(日)(2/10) 山田池公園 9:30現地公園北入口駐車場

第3(土)(1/16) 緑の文化園 9:00JR学研都市線四条駅東口

第4(土)(2/23) くろんど園地 9:30京阪交野線私市駅前

└ (奇数月ほしだ園地・偶数月くろんど園地に変更)

#### ②日本野鳥の会入会時の会費

会員区分 (内容)	おおぞら会員 (本部+支部)	赤い鳥会員 (支部のみ)	むくどり会員 (支部・但し1年のみ)
年会費	7500円	3500円	1000円
入会金(初年度のみ)	1000円	1000円	—
会報 隔月刊(支部)	「むくどり通信」 (本部)	「むくどり通信」	「むくどり通信」
	「野鳥」	—	—

#### ③ 探鳥会参加費 会員 100円 非会員 200円(交野のみの会員も)

参加費+名簿記入で探鳥会保険に入っています。しかし、痛みは保証しないので、怪我をしないように

#### 皆さんのお宅の周りの小鳥はいかがでしょうか。

今シーズンは、ツグミ・シロハラ・アトリ・カワラヒワなどの個体数が少ない気がします。台風21号で木の葉・木の枝、そして木の実が吹き飛ばされ、餌が少なくなったためでないかとの意見も聞きますが、どうでしょうか。これまで12月に少なくとも、翌春2~3月に回復することが多かったため、今年も期待したいです。

### 府民の森「ほしだ園地探鳥会」

(毎月第4土曜日 両園地通算第229回)

平成31(2019)年1月26日(土) 9:30~15:00

日本野鳥の会大阪支部 平軍二(090-6901-1425)

友田武・神戸徹・斉藤健・近藤輝男

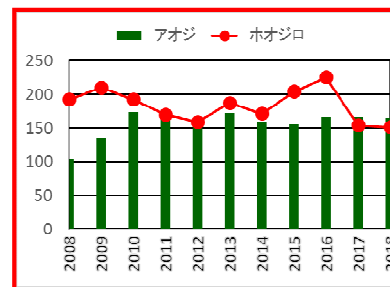
#### 1. 交野の鳥シリーズ(87) アオジ (&ホオジロの仲間)



今月の写真は昨年12/23交野バードに公開された河村壽氏のアオジにしました。

冬鳥のアオジはホオジロ科としてはほぼ毎日、身近に観察できる鳥ですが、その観察頻度の高い状況が友田武氏の交野市の鳥フィールドノート(11年間)からわかります。

交野市にいる期間が冬の間約半年のアオジが、交野市に一年中いて繁殖している留鳥ホオジロと、年間観察日数では同レベルにあるのは、アオジが身近にいることを示しています。友田氏のように地道な観察記録がないので推定ですが、私(平)の地元吹田市では、里山里地が無くホオジロがほとんど観察できないので、アオジの1/10以下と思っています。



同じように草の実を主食にしている両種がこんなに違うのは、アオジがホオジロほど広い「草原」を必要とせず、住宅地近くの狭い林縁部にも生息しているためと思われます。

この2種と同時にホオジロ科のカシラダカ・クロジ・ミヤマホオジロを含めた11年間(2008年~2018年)の観察日数比較した所、上表の通り、クロジがカシラダカと肩を並べていることがわかりました。大阪府全体では非常に稀なクロジがカシラダカと同じレベルになったのは、交野市のクロジがほぼ決まった場所において観察しやすいのに対し、クロジより多い筈のカシラダカは生息場所が一定していないためと予想しています。

	11年間 観察日数	%
アオジ	1728	43%
ホオジロ	2015	50%
カシラダカ	458	11%
クロジ	394	10%
ミヤマホオジロ	184	5%

